

令和6年度第2回指定管理者審査委員会 議事録

日 時 令和6年10月29日(水) 午前10時～午後0時10分
 場 所 日進市立図書館1階 第3会議室
 出席委員 亀倉正彦、村上康司、平家勉、上田信子、黒田雅也(敬称略)
 欠席委員 無し
 事務局 鬼頭聡(総合政策部次長兼企画政策課長)、白木誠(同課課長補佐)、秋山里奈(同課企画経営係主査)、根北直幸(同課同係主事)
 説明の為に出席した者 祖父江直文(福祉部長)、高見紀子(同部部次長兼地域福祉課長)、野村圭一(同課課長補佐)
 傍聴の可否 不可(日進市情報公開条例第7条第3号に該当する事項を審議するため。)
 議 題 日進市中央福祉センターの指定管理者の候補者の審査(第2次審査)について

発 言 者	内 容
事務局	1 開会
	2 挨拶
	3 議題 日進市中央福祉センターの指定管理者の候補者の審査について
社会福祉法人 日進市社会福祉協議会	(事業提案書に基づきプレゼンテーション及び質疑応答)
	(主な質疑応答) 質問：現在と発展強化計画と職員数が異なる理由は。 回答：現在の116名は正規職員以外を含めた人数で、発展強化計画には正規職員のみ的人数を記載している。 質問：正規職員の人件費は、指定管理業務に従事する割合分の金額か。 回答：そのとおり。実際は他業務と兼務している。 質問：収支予算書に物価上昇等が考慮されていないが。 回答：指定管理期間は同額として計上した。 質問：収支内訳書の業務委託費のうち、施設管理事務委託の内容は。 回答：休館日の施設利用時のシルバー人材センターへの施錠等の契約である。 質問：自主事業は行っていないのか。 回答：指定管理業務の範囲とは別で社会福祉協議会独自の事業は行っている。 質問：成年後見人制度の業務は行っているか。 回答：成年後見人制度は尾張東部権利擁護支援センターが担当している。日常生活自立支援事業は担当している。 質問：基金積立資産取崩収入とは。 回答：社会福祉充実基金として積み立てていたものを人件費等に補填しているもの。 質問：広報活動は外部に委託しているのか。

発 言 者	内 容
	<p>回答：令和元年度にホームページリニューアル時は外部に発注した。日々の更新は職員が作業している。</p> <p>質問：職員に広報に必要な研修をしているか。</p> <p>回答：現在は行ってない。今後、検討する。</p> <p>質問：地域福祉の推進の具体的な事例は。</p> <p>回答：福祉まちづくり協議会やまちの守り人養成講座、つどいの場の開設支援を行っている。今後はC S W 3名に加え、さまざまな機関と連携していくために、統括職員を1名配置する予定。</p> <p>質問：旧福祉情報センターとの連携は。</p> <p>回答：旧福祉情報センターは貸会議室とし、中央福祉センターと一体管理する。旧福祉情報センターの機能は本館側で実施、充実させていく。</p>
4	答申
	(閉会 午後0時10分)